

N.E.blood 21

—with AYA WATANABE EXHIBITION—

渡辺 綾 展

2021 6.2 wed ▶ 7.25 sun

「N.E.blood 21」は精力的に制作、発表活動を行う東北・北海道在住若手作家を紹介するシリーズ企画です。美術館とアーティストとの新しい関係を模索しつつ、作家同士のネットワーク形成を念頭に置き複数の作家の個展を開催しています。第76回目となる本展では宮城県仙台市在住の作家渡辺綾(わたなべあや)を紹介します。

渡辺は1986年宮城県仙台市生まれ。2014年に東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術文化専攻を修了。日本画作品を制作、個展・グループ展等にて作品を発表し、高い評価を得ています。

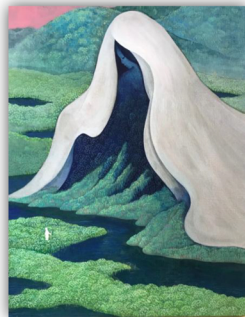
リアス海岸を有する三陸沿岸部は、海と山が海岸線で対峙するため、人々は海を主な仕事場としつつ、住まいは山裾から山腹に位置する独特の生活を送ってきました。地域住民にとって海と山は決して切り離すことのできない大切な風土と言えます。

渡辺は内陸部における山と人の関係、人の暮らしと土地の風物を神話的に描いてきました。ならば、私たちが知る「海を望む山、海から見上げる山」と、「平野を見渡す山、平野から見上げる山」の違いはいかなるものでしょう。この機会に、当地における山の意味を探ってみてはいかがでしょうか。



渡辺 綾 <Watanabe Aya>

- 1986 宮城県仙台市生まれ
- 2005 宮城県宮城野高等学校美術科卒業
- 2012 東北芸術工科大学芸術学部美術科卒業
- 2015 東北芸術工科大学大学院芸術工学研究科芸術文化専攻修了
- 2015 東北道は可能か?—地方之図博物館機関—(東京都/東京都美術館)
- 2016 堂島リバーアワード 2016(大館市/堂島リバーフォーラム)/入選
- 2017 東北道は可能か?—地方之図博物館機関—(福岡市/福岡アートフォーラム)
- 2018 第10回 宮城県宮城野高等学校美術科日本画 OG・OB 展 みののこ展 (仙台市/ゼンダイメディアテーク)
- 2020 山と里のいどり展 (酒田市/松山文化伝承館)
- 他 グループ展・個展多数



- 1 山のかみ 〜ヤマノヒ〜 2020年/和紙、アクリル絵具、水干絵具、岩絵具/350×1050mm
- 2 月の山 〜みちきよとの記憶〜 2014年/キャンバス、アクリル絵具、水干絵具、岩絵具/1785×2700mm
- 3 満月の山 〜ゆたかたう〜 2015年/キャンバス、アクリル絵具、水干絵具、岩絵具/1420×1930mm
- 4 白く吐く 2016年/和紙、アクリル絵具、水干絵具、岩絵具/410×318mm
- 5 いざないの山 2014年/縞布、アクリル絵具、水干絵具、岩絵具/410×318mm

リアス・アーク美術館
RIAS ARK MUSEUM OF ART

【常設展】●美術作品展 ●歴史民俗資料展＝方角日記―海と山を生きたリアスな暮らし― ●東日本大震災の記録と津波の災害史展
※施設観覧料一律700(600)円/大学・専門学生:600(500)円/高校生:500(400)円/小・中学生:350(200)円 ※20歳以上の団体料金)
【レストラン/キッズスペース 事の倉】＝地元食材中心の創作料理をご提供。日替ランチ(¥600)、魚介系フード(¥900)が人気。

- 三陸自動車道【気仙沼中央IC】から約5km(仙台市から約120km/石巻市から約70km/陸前高田市から約25km) ■東北自動車道【一関IC】から約50km ■無料駐車場あり(普通37台・大型5台)
- 東北新幹線【一関】—(大船渡線)—【気仙沼】 ■東北新幹線【仙台】—(気仙沼線)—【気仙沼】
- ※気仙沼駅からタクシー(約15分)をご利用ください。 ※「タクシー割引券」と「常設展観覧券引換券」のセットクーポン券が気仙沼駅前観光案内所、気仙沼観光コンベンション協会(電話:0226-22-4560)で販売中。※現在、気仙沼線(前谷地—気仙沼間、大船渡線(盛—気仙沼)間はBRT運行。

同時開催
N.E.blood 21
vol.77
草薨裕展
写真/秋田県



リアス・アーク美術館
ホームページ QRコード

開館時間 9:30～17:00(最終入館は16:30まで)
休館日 毎週月・火曜日/祝日の翌日(土・日・祝日も除く)
入館料 無料
観覧料 無料(先着でパンフレット進呈します)

